

令和4年度 川西市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：8名（各包括に1名ずつ専任の推進員を配置）
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - (1) 認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療、介護等のサービスを受けることができるための関係機関との連携体制の構築業務
 - (2) 認知症の人等への相談・支援業務
 - (3) 川西市医師会や認知症サポート医、認知症疾患医療センター専門医等との連携業務
 - (4) 川西市認知症初期集中支援チームとの連携及び支援業務
 - (5) 川西市認知症地域資源ネットワーク推進会議との連携体制の構築業務
 - (6) 認知症カフェへの支援業務
 - (7) 認知症予防事業の推進業務
 - (8) 認知症の方やその家族等の意見や、地域の実情に応じた認知症施策の企画調整への協力
 - (9) その他認知症に関すること

報告者氏名：

中山緑、今北紗友里、乾朋治、山本敬子、山本一美、林崎仁美、篠崎善之、田上美由紀

川西市の認知症に関する施策の方向性と取り組み

川西市高齢者保健福祉計画 第8期介護保険事業計画

令和3(2021)年度～令和5(2023)年度

基本目標3 認知症になっても自分らしく暮らす ～認知症施策の充実～

認知症施策推進大綱に基づき、認知症予防の啓発、取り組みを一層充実していくとともに、認知症になっても、自分らしく、希望を持って住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けられるよう、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」の両輪で認知症の人を支える仕組みづくりを進めます。

項目	方向性	具体的取り組み	地域の取り組み
(1) 認知症の予防と啓発	①認知症の予防 ②認知症の早期発見と適切なケアの普及	介護予防教室 認知症ケアネット 認知症チェックリスト	— — —
(2) 認知症支援体制の充実	①認知症地域支援推進員の取り組み ②認知症初期集中支援チームの取り組み ③地域における支援体制の充実 ④地域のみまもりネットワークの構築	認知症地域支援推進員 認知症初期集中支援チーム 認知症サポーターやキャラバン・メイト等の養成 認知症カフェ助成金 認知症地域資源ネットワーク構築事業推進会議 認知症みまもり登録、靴用ステッカー 認知症行方不明者SOSネットワーク 川西行方不明者SOSネット	— — 認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイト連絡会 認知症カフェ(11か所)、認知症カフェネットワーク連絡会 — 地域ケア会議 認知症行方不明者SOSネットワーク訓練 協力者登録
(3) 若年性認知症への対応		ニーズの把握と支援サービスのあり方の検討 市民などへの啓発	— 若年性認知症カフェ

● 新規・拡充施策

施策	内容
チームオレンジの立ち上げ	認知症の人ができる限り地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと、認知症サポーターなどによる支援をつなぐ仕組みである「チームオレンジ」について、認知症地域支援推進員とともに立ち上げます。

今回報告会を開催することになった経緯

コロナ蔓延により地域の活動が減少・・・

以前は集まって報告会を開催し、他地区と情報交換をしていたが、R2～4年度は活動状況を冊子にして共有するのみであった。

地域住民からも「他地域がどのような活動をしているのか知りたいし話を聞きたい」という意見があり、3年ぶりに集合型で開催！

川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業 報告会

～認知症になっても安心して暮らせるまちにするために～



3年ぶりに開催しました！

〈地域の取り組み発表〉

- ・明峰地区 キャラバン・メイト代表
「明峰地区で行われている認知症への取り組み」
- ・川西北小地区 キャラバン・メイト代表
「これからの認知症カフェについて」
- ・東谷地区福祉委員長
「認知症カフェ“ふらっと・b”の取り組みと今後について

～参加者の声を交えて～



〈事業所の取り組み発表〉

- ・市内3店舗経営 セブンイレブン店長による
「誰もが安心してお買い物ができるようにするために」



明峰地区 キャラバン・メイト代表 「明峰地区で行われている認知症への取り組み」

基礎的活動

【啓発・研修・企画・広報】

- ① キャラバンメイト連絡会(1回/月)
- ② 認知症サポーター養成講座開催
 - ・「たのみ隊」(3/24日) 23名参加
 - ・「安心サポート」(9/15日・29日) 51名参加



- ・鶯台自治会(11/5日) 24名参加
- ・阪急百貨店7包括合同(12/1日)
- ③ 認知症行方不明者SOSネットワーク訓練
 - ・「安心サポート」(11/17日) 15名参加
- ④ チームオレンジ説明会 (7/26日)
- ⑤ キャラバンメイト増員(2名増員13名に)
- ⑥ 広報 (福祉委員会だよりに掲載2回/年)

認知症予防

- ① 自治会単位に「いきいき元気倶楽部」「いきいき百歳体操」開催
- ② 脳活倶楽部の自立グループが活動継続(3グループ)

真実|ほつかない!

見守り活動

「安心サポート」



- ① 顔の見える小地区単位毎の見守り・声掛け・専門職へのつなぎ・・・など
- ② サポーター120名(福祉委員、民生委員、民生協力委員他)
- ③ 小地区単位の定期連絡会 (2回/年)
 - ・情報共有と役割分担
 - ・専門職(認知症地域推進支援推進員・社協コミュニティワーカー)の出席

《認知症の方への活動状況》

認知症又は懸念がある方の情報は小地区定期連絡会で毎回数件ある。ケース毎に専門職と相談しながら今後の見守り内容と担当を決めている。

居場所

「たんぽぽ」



- ① 自治会館など7か所で開催

《認知症の方への活動状況》

 - ・本人又は家族の方が参加されている。(2ヶ所3名、1名の方は若年性認知症)
 - ・見守り活動などで誘い。

※新たに公園を利用した
”青空カフェ”(仮称)を検討中

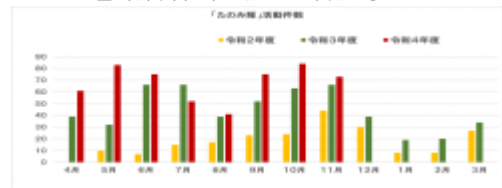


生活支援活動

「たのみ隊」



- ① 日常生活面におけるお困りごと支援
- ② 隊員数69名、活動件数平均60件/月



《認知症の方への支援状況》

- ・依頼はケア会議、ケアマネージャー、民生委員からのルートが多い。
- ・依頼内容は話し相手、ゴミ出し、掃除、庭の手入れなど
- ・高齢者夫婦でどちらかが認知症の事例が多い。(今年度10数件)
- ・話し相手(2件)
- ・付添い(1件あるもキャンセル)

認知症行方不明者SOS

—「明峰地域ネットワーク」—
を検討中

明峰地域の方が行方不明になった場合、迅速に地域内で捜索出来る仕組み。

川西北小地区 キャラバン・メイト代表 「これからの認知症カフェについて」

ものわすれカフェについて



キャラバンメイト定例会と認知症カフェ「ものわすれカフェ」を、各々月1回開催しました。新しいキャラバンメイトの参入もありました。カフェについては【コロナ禍の中でこそ開催していきたい！】との思いで活動を続け、毎回多数の参加を得ることができました。認知症への正しい理解と、認知症になっても笑顔で暮らせる地域をめざして、これからも頑張りたいと思います。

メガネの三城で認知症カフェ開催

初めての試みで、地域にある眼鏡店「メガネの三城」での（小規模）認知症カフェを、年4回開催させていただくことになりました。お店の社会貢献という理解をいただき、地域資源として活用できたことは幸せでした。ゆったり落ち着いた雰囲気の中、心穏やかにお互いの顔を見ながら、日頃の思いが話せる居場所をめざします。今までのコミュニティプラザ萩原での「ものわすれカフェ」とは、また一味、趣の違う地域の居場所となりそうです。



～これからの認知症カフェについて～

以前から認知症カフェについての模索を続けてきましたが、カスタマーアンケートの要望欄に「認知症カフェへの場所提供のお願い」を書いたことから、新たなご縁が生まれ、新たなカフェ誕生につながりました。今後も、地域内の色々な施設や店舗または空き家などの利用を、理解と協力を得て、地域の我々が気軽に集える居場所となることを期待します。認知症になっても、明るく包み込んでもらえる居場所が川西市に一つでも多く生まれますように！！

東谷地区福祉委員長 「認知症カフェ“ふらっと・b”の取り組みと今後 について～参加者の声を交えて～」



ピア・カウンセリング機能



同じ境遇の方同士
だからこそ「共感」がある。

自分だけが悩んでいるのではないと、
ホッとすることも。

他者の介護の方法、
関わり方を見て
学ぶことができる。



認知症
が理解できる
カフェ
～ふらっと・b～

対話重視！

認知症の「人」ではなく、その「人」らしさを
理解することに重点をおいています。

相手のペースに合わせて、安心してお話し
してもらえるように心がけています。



セブンイレブン店長による 「誰もが安心してお買い物ができるようにするために」

みんなで温もりのある街、
助け合えるつながりをつくる



認知症
サポーター
養成講座
の開催

日々の
見守り



市とコンビニの協定内容

- ① SOSネットワークの協力**
行方不明となった高齢者や障害児(者)の捜索協力(各店舗に防災ラジオを貸与し、従業員や来店者に情報提供)
- ② 認知症に対する正しい知識の普及・啓発**
オーナーなどを対象に、市が実施している認知症サポーター養成講座受講
- ③ 高齢者等の見守り・安否確認**
店内で物品の販売等の際に高齢者の見守りや安否確認
※セブンイレブンはセブンミール配達時も実施
- ④ 振り込め詐欺などの被害の恐れがある高齢者がいた場合に声かけ**

川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業 報告会を開催して・・・

コロナ禍で地域活動ができていないところも多くありました。

今回、コロナが落ち着き地域の活動も再開した頃での報告会の開催となりました。

発表者の方はもちろん、来場された方も「他地域の活動を実際に聞くことができてよかった」「自分の地区でもこんな活動したい」等の感想をいただきました。今後の地域活動への参考にしていただけたようです。

報告会を開催してよかったと思えました。

認知症地域支援推進員としての思い

認知症になっても住みやすいまちづくりを目指すためには

地域に居場所があることが重要！

そのために

認知症地域支援推進員として

これからも地域での活動場所を継続できるように**後方支援**と**新たな活動**を作り出すために、認知症の当事者はもとより地域住民の方々と一緒に取り組んでいきます！